

第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の結果について

資料1-1

【達成度:実績値/量の見込み】

【進捗状況(評価)】 A:計画以上に進んでいる B:計画どおりに進んでいる C:計画から遅れている D:実施していない

(評価基準:A:100%以上 B:75~99% C:50~74% D:49%以下)

基本理念 I 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち
 基本目標 1 安心して子どもを産み育てられるまちを目指す
 基本施策 1 子育て家庭への細やかな支援の充実

No	項目・施策の展開 (第4章7(48~60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36~47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
				R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)				
1	愛着形成の支援と孤立化予防	母子の愛着形成の支援や児童虐待を予防するため、妊娠期及び乳児期早期を対象とした教室や相談事業等を開催します。	利用者支援事業	一般型 (実施か所数)	1	1	1	1	1	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整などを実施する事業です。本市においては、東部子育て支援センターでの一般型利用者支援事業と、令和6年度から子どもサポートセンター及び保健センターでのこども家庭センター型として、利用者支援事業を継続して実施しました。	B	子ども家庭支援課
				実績値	1	1	1	1	1			
				達成度	100%	100%	100%	100%	100%			
				母子保健型 R6~こども家庭センター型 (実施か所数)	1	1	1	1	1			
				実績値 (実施か所数)	1	1	1	1	1			
				達成度	100%	100%	100%	100%	100%			
			地域子育て支援拠点事業	量の見込み (延人)	17,900	17,950	18,050	18,100	18,150	・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。本市では、東部子育て支援センター「すくすく広場」、北御牧子育て支援センター「みまき未来館」の運営に該当する事業で継続して実施しました。 ・令和6年4月から保護者の育児負担の軽減などを目的に、両子育て支援センターでの一時預かり事業を開始しました。 ・令和6年度の子育て支援センター利用者は10,885名です。 <参考>R5実績:10,031人 【具体的な取組】 ・リズム遊び…実施回数:11回(前年度11回)、参加者数:200人(対前年度比:86%) ・おはなし絵本…実施回数:11回(前年度10回)、参加者数:163人(対前年度比:95%) ・育児座談会…実施回数:4回(前年度11回)、参加者数:64人(対前年度比:41%) ・すくすく相談…実施回数:2回(前年度10回)、参加者数:14人(対前年度比:10%) ・0歳児のママひろば…実施回数:11回(前年度16回)、参加者数:245人(対前年度比:91%) ・ふれあいひろば…実施回数:12回(前年度11回)、参加者数:336人(対前年度比:157%) ・ねんねのあかちゃんひろば…実施回数:12回(前年度12回)、参加者数:150人(対前年度比:121%) ・あそびのひろば…実施回数:10回(前年度6回)、参加者数:97人(対前年度比:206%) ・なかよしひろば…実施回数:18回(前年度0回)、参加者数:306人(前年度対比-%) ・発達支援事業…実施回数:35回(前年度21回)、参加者数:198人(対前年度比:69%) ・一時預かり事業…東部582人、北御牧286人 計868人(前年度対比-%)		
				実績値(確保策) (人)	9,219	9,977	11,192	10,031	10,885			
				実施か所数	2	2	2	2	2			
				達成度	52%	56%	62%	55%	60%			
2	世代を超えた子育て支援体制の推進	中高生や子育て世代などとの交流の場を創出し、世代を超えた子育て支援体制を推進します。また子育てしやすい地域づくりについて、市民や地域、企業等とともに学び、考える機会を設けます。	子育て援助活動支援事業 (就学児対象のファミリー・サポート・センター事業)	量の見込み (人)	46	46	46	46	46	ファミリー・サポート・センター事業は実施しておりませんが、子育て支援サポーター養成講座修了者や子育て経験者に「見守り支援員」として登録いただき、支援ニーズが高い子どもや子育て家庭の見守り支援を行う「支援対象児童等見守り強化事業」を令和5年10月から開始し、令和6年度も継続して実施しました。	D	
				実績値(確保策) (人)	0	0	0	0	0			
				実施か所数	0	0	0	0	0			
				達成度	0%	0%	0%	0%	0%			
			—	—	—	—	—	—	—	・「ぼけっとひろば」は令和6年度から「なかよしひろば」として支援センターで実施しました。 ・上田女子短期大学、丸子修学館高校との協力により、学生実習の受け入れと、乳幼児とのふれあい体験、その他講義等を行い交流の機会を持つことができました。		

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
					R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)			
3	自然活動体験の充実	東御の豊かな自然環境の中で、親子で外遊びや里山活動を楽しみ、様々な体験を通じて子どもの元気な育ちを応援します。	-	-	-	-	-	-	-	支援センターで里山体験を紹介するほか、委託事業により屋外での体を動かす活動を取り入れて実施しました。 【具体的な取組】 ・たんけんひろば…実施回数:6回(前年度3回)、参加者数:79人(対前年度比:143%)	B	子ども家庭支援課
4	個別支援の充実	支援が必要な家庭について、個別に相談に対応し、必要な支援を行います。また他機関との連携により、総合的かつ継続的に支援します。	養育支援訪問事業	量の見込み(人回)	50	50	50	50	50	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児童、特定妊婦、要保護児童など、養育支援が特に必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための支援を行う事業です。 ・改正児童福祉法(R6年4月1日施行)により、養育支援訪問事業は指導事業となり、家事・育児支援は新たに創設された「子育て世帯訪問支援事業」に移行しました。 ・配慮や経過の見守りが必要な児童や家庭に対し、保健師や家庭児童相談員の訪問指導などを実施し、家事の援助が必要な家庭に対しては、子育て世帯訪問支援事業等の家庭支援事業に繋げ、関係機関との連携を図りながら継続して実施しました。(子育て世帯訪問支援事業 R6延べ訪問回数:2,814回、延べサービス提供時間:2,820.5時間) 【資料1-2参照】	A	
				実績値(確保策)(人回)	28	38	34	28	1,709			
				実施か所数	3	3	3	3	-			
				達成度	56%	76%	68%	56%	3418%			
			子育て短期支援事業	量の見込み(延人)	10	10	10	10	10	保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ必要な保護を行う事業で、継続して実施しました。(延べ6世帯 79泊)		
			実績値(確保策)(人)	12	9	6	15	79				
			実施か所数	3	5	5	3	4				
				達成度	120%	90%	60%	150%	790%			
5	情報発信の充実	子育て応援ポータルサイト等により適切に情報発信を行います。	-	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・行事案内や実施した行事の様子を「すくすくほけっと」によりお知らせしました。すくすくほけっと閲覧ページビュー数(ページビュー数:89,425 セッション:30,290 ユーザー:17,357) ・LINEを積極的に活用し、年齢に合わせた情報発信をしました。 ・巨峰の王国まつりに出展し、子どもサポートセンターのPRを行い、2日間で1,000人以上の来場がありました。 ・市報とうみに、毎月子どもサポートセンターの記事を掲載しました(年間10回) 	B	
6	就労に関する相談	就労に係る相談等ができる機会を設けます。	-	-	-	-	-	-	-	・女性のための就労相談会は東部子育て支援センターで8月、10月、1月、2月に4回実施しました。	B	
7	妊娠期から概ね18歳までの子育て家庭への包括的かつ継続的な支援の実施	東御市に居住する出生から概ね18歳までのライフステージにおいて、「子どもの自立」を目指した支援及び「子育て家庭への包括的かつ継続的な支援」を実施します。	-	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月に子どもとその家庭に関する包括的な相談業務と子どもや家庭が抱える様々な複合する課題に対し、制度や組織による縦割りの壁、年齢の壁を克服して妊娠期からの切れ目ない包括的な支援に取り組む「子どもサポートセンター」を開設し、令和5年度からは母子保健分野と児童福祉分野の一体的な相談支援体制構築のため専門職の配置を拡充し取り組んできました。 【資料1-2参照】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポートセンター関係課長による運営委員会(オブザーバー:副市長、教育長)3回、関係係長による運営委員会幹事会5回開催し、諸課題の協議や情報共有を図りました。 	B	

基本理念 1 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち
基本目標 1 安心して子どもを産み育てられるまちを目指す
基本施策 2 より豊かな幼児教育・保育の実践

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
					R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)			
1	教育・保育環境の整備	保育サービスの充実と安全で良好な幼児教育・保育環境の整備を進めます。	教育・保育給付事業	量の見込み	【資料1-3参照】					幼児教育・保育のニーズに係る施設型給付及び地域型保育給付については、特に保育が必要なニーズについては待機児童を発生させることなく、保育サービスを提供しました。	B	保育課
				実績値								
				達成度								
			預かり保育事業	量の見込み	【資料1-3参照】					未就園児の保護者の急な要件により保育が一時的に困難となった乳児又は幼児について、保育所その他の場所において、一時的な預かりを行う事業です。市内6保育園では未就園児を対象に、くるみ幼稚園では1号認定を受けた在園児を対象に継続して実施しています。令和6年度は、くるみ幼稚園の未就園児を対象とした一時預かりの実績はありませんでした。		
				実績値								
				達成度								
延長保育事業	量の見込み(人)	800	800	800	800	800	保育所及び認定こども園(2号)利用者を対象に、保育認定時間外に保育を希望する場合に提供する事業で、本市では6か所の保育園及び1か所の認定こども園で実施しています。					
	実績値(確保策)(人)	517	480	443	455	558						
	実施か所数	6	7	7	7	7						
	達成度	65%	60%	55%	57%	70%						
病児保育事業(病児・病後児保育)	量の見込み(人)	50	50	50	50	50	病児・病後児保育事業は、病気にかかっている子どもや回復しつつある子どもを、医療機関や保育所の付設の専用スペースなどで一時的に預かる事業で、本市では2か所で継続して実施しています。令和6年度本事業の利用は10件でした。					
	実績値(確保策)(人)	0	3	15	14	10						
	実施か所数	2	2	1	2	2						
達成度	0%	6%	30%	28%	20%							
実費徴収に係る補足給付を行う事業	-	-	-	-	-	-	令和元年10月より幼児教育・保育の無償化が開始され、本市においては新制度未移行幼稚園の保護者に対し、副食費の補助(第2子半額、第3子以降全額、ただし上限額の設定あり)を実施しています。【令和6年実績 支払い実人数8名 5世設】					
2	運動遊びの充実	運動遊びの対象年齢を拡大し、心身ともに健やかな子どもの成長を支援します。	-	-	-	-	-	-	・あそびや体の使い方を見つめなおし、全園であそび冊子「そだちのタネ」を作成。全年齢で活用し、あそびの充実や体づくりに結びました。 ・信州型自然保育に取り組み、芝生の園庭を活用した戸外あそびや年長児の里山探検、地域の方との交流を通じ、田植えや竹の子掘り等自然に触れる機会を設けました。	B		
3	療育支援と発達特性に対する知識の普及	発達特性の早期発見と発達段階に応じた療育支援の充実、発達特性への正しい知識の普及推進を図ります。	-	-	-	-	-	-	・年度内に5歳となる市内の子どもを対象に発達相談事業を行いました。就園児は園での集団生活における児の発達特性を観察し、必要に応じて発達相談・発達検査を行いました。その結果を受け、園と家庭で課題を共有し、必要な支援の実施に繋がりました。(令和6年度実績 220名) ・「発達支援の日常化」のため、子育て支援センターの日常的な利用を促すことや、療育専門保育士の定例相談日(月1～2回)を設けるなど、子どもの発達支援事業「ひまわりっこ」を実施しました。 ・令和6年度実績 35回 参加実数17組(延べ児童数99名 保護者含む延べ人数198名) ・体と運動の相談会、言葉の相談を行い、個別に療育的なアドバイスを実施しました。	B	子ども家庭支援課	

基本理念 I 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち

基本目標 1 安心して子どもを産み育てられるまちを目指す

基本施策 3 安心して子育てできる環境づくり

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
					R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)			
1	交通安全・防犯意識の向上	交通安全教室や防犯教室の実施、通学路の安全確保を図ります。	-	-	-	-	-	-	-	・交通安全教室は年5回実施しました。3回は園内で実施、他2回は交通安全支援センター指導員が来園し、道路の安全な歩き方や渡り方を指導を受けました。(4月:年少親子・2月:年長親子) ・防犯女性部の方による防犯教室の実施。(年1回) ・園外保育については、「散歩コース」に危険な箇所がないかを事前に現地の下見と計画書を立案し、実施しました。また、職員会において、より安全なルートの確保について検討を行っています。	B	保育課

基本理念 I 子どもも大人も輝き、人と文化を育むまち

基本目標 2 心豊かにたくましく生きる子が育つまちを目指す

基本施策 1 安心・安全な子どもの居場所づくりと教育環境の整備

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
					R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)			
1	子どもの放課後活動	①児童館と放課後児童クラブの充実を図り、子どもが子どもらしく主体的に過ごす時間を創出します。 ②地域との連携を深め、異年齢や地域住民との交流活動を推進します。 ③保護者のニーズを捉え、子どもの放課後の環境改善を進めます。老朽化した和児童館の移転新築事業を令和3年度以降に実施し、新施設に放課後児童クラブを併設させ、環境改善と利便性の向上を図ります。	放課後児童健全育成事業	量の見込み (人)	299	311	315	314	312	保護者が就労等により、日中家庭において適切な育成を受けられない児童を対象に、適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を図る事業です。本市では、平成27年度より高学年の受け入れをしており、継続して実施しています。	B	教育課
	実績値(確保策) (人)	277	287	261	257	292	①児童館及び放課後児童クラブの利用人数は下記のとおりです。 ・令和6年度児童館の利用人数 延べ59,967人 ・令和6年度児童クラブの利用人数 延べ44,896人					
	実施か所数	11	11	9	8	8	②異年齢間の交流活動として、令和元年度から実施している放課後子ども教室「げんき塾」は、東御清翔高校ボランティア部の生徒、主任児童委員、子ども会育成会など地域の方の協力を得て実施しました(田中・和小学校5回、滋野・祿津・北御牧小学校4回全22回を計画しましたが、延べ参加人数569人)。					
	達成度	93%	92%	83%	82%	94%	③学校から離れているほか老朽化が進んでいた滋野児童館について、滋野小学校隣接地に移転新築しました。移転新築にあたっては、児童館、児童クラブ併設の施設として整備し、これにより、それぞれの職員が協力して施設の運営を行うことができるようになり、子どもたちの見守り体制の強化が図れるようになりました。					

基本理念 II 共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち

基本目標 1 生涯にわたり健やかに暮らせるまちを目指す

基本施策 1 生涯を通じた健康増進の推進

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課	
					R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)				
1	母子の健康増進	(1)妊産婦健診、乳幼児健診による疾病、障がい等の早期発見と早期支援を実施します。	妊婦健診	量の見込み(人)	215	212	210	207	205	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。本市では基本健診14回分の受診票を交付しており、継続して実施しました。	B	健康推進課	
				実績値(確保策)(人)	186	174	168	161	128				
				健診回数(1人につき)	14	14	14	14	14				
				達成度	87%	82%	80%	78%	62%				
		(2)妊産婦及び乳幼児家庭訪問による保健指導、出産・子育てに係る相談を実施します。	乳児家庭全戸訪問事業	量の見込み(人)	215	212	210	207	205	概ね生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、乳児の発育・発達の確認、子育てに関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業で、継続して実施しました。			
				実績値(確保策)(人)	184	184	174	163	155				
				達成度	86%	87%	83%	79%	80%				
		(3)両親学級、離乳食教室等による妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発を行います。	—	—	—	—	—	—	—	—			<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出のあった妊婦に対し、母子健康手帳、妊婦一般健康診査受診票、妊婦歯周病検診受診券、産婦健康診査受診票、新生児聴覚検査受診票、授乳相談等助成券を発行しました。同時に、保健指導を行い妊娠出産に対する不安軽減に努めました。 ・乳幼児健診において、児の発育・発達の確認や母親の育児支援を実施しました。 ・妊産婦及び乳幼児家庭訪問においては、正しい知識の普及に努め、不安等がある場合は必要なサービスに繋げ、再訪問・面接等をしてフォローを行いました。 ・もうすぐママパパ学級や離乳食教室を開催し、妊婦と家族の妊娠・出産・育児・食事・栄養について正しい知識の習得に努めました。 ・産後ケア事業では母体の心身のケアや授乳指導、育児のアドバイスを実施しました。また、相談事業として健康相談、子育て(心理)相談、言語相談、精神保健相談を実施しました。
関係部署、機関等との連携による妊娠・出産・子育てに係る切れ目ない支援を提供します。	—	—	—	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・市内助産施設と連携会議や保育園との情報共有会議等を開催しました。妊娠期の母子を支える関係者で定期的に事業検討や連携を図るための話し合い、乳幼児健診で保護者への遊びや対応等の支援が必要な対象者を子育て支援センターにつなぐ、児の入園に向けての発達課題等に対する支援や対応の必要性について子ども家庭支援課や保育園に引継ぎをしました。 						
								愛着形成の支援と虐待予防	各事業を通じた児への愛着形成の促進及び虐待の未然防止に努めます。	—	—	—	

基本理念 II 共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち

基本目標 2 誰もが自分らしく暮らせるまちを目指す

基本施策 1 支えあ地域福祉づくりの推進

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
					R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)			
1	地域福祉計画に基づく 地域福祉の推進	市民が地域福祉活動に参加しやすい環境の整備及び地域福祉意識の啓発活動を実施します。 (1)災害時支えあい台帳作成・更新を行います。	-	-	-	-	-	-	-	・福祉専門職の抽出による優先的な配慮を必要とする対象者において、個別避難計画の策定を推進し、高齢者分については全市での整備が終了しました。 ・個別避難計画の障がい者分については、手帳所持者全員に調査を実施し、作成希望者を抽出しました。 ・自治推進委員会や地域福祉懇談会で災害時支えあい台帳及び個別避難計画の新規作成・更新の依頼を行いました。	B	福祉課

基本理念 II 共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち

基本目標 2 誰もが自分らしく暮らせるまちを目指す

基本施策 2 障がい児福祉の充実

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
					R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)			
1	切れ目ない支援の充実	(1)運動発達支援、SSTなどの障がい児の力を伸ばす療育支援や放課後、長期休暇中における居場所の確保をする支援を柱とし、多岐にわたる障がい児支援サービスを提供します。 (2)乳幼児健診、特別支援学級、ペアレントトレーニング等の充実において、保健、医療、教育、労働等との連携を強化し推進します。	-	-	-	-	-	-	-	(1)児童発達支援※1の利用促進 乳幼児健診や発達支援事業ひまわりっこ、保育園、小中学校等から、専門的療育支援の必要な児童を児童発達支援の利用につなげました。特に、令和6年度中に市内に新たに児童発達支援事業所が開設し、早期に療育に繋ぐことができました。 ※1 児童発達支援 就学前の特別な支援の必要な児童に対し、日常生活における基本的動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス (2)ペアレントトレーニング※2の利用促進 ・集団を対象としたペアレントトレーニングを実施し10名の保護者の参加がありました。また、より丁寧な対応に必要な保護者に対しては個別で実施しました。 ※2 ペアレントトレーニング 保護者が子どもとより良いかかわり方を学ぶことにより、日常の子育ての困りごとを解消し、子どもの発達促進や行動改善を図るもの 【資料1-2参照】 (3)関係機関との連携 ・子どもサポートセンターが窓口となり、様々な年代の子どもや家庭の相談について、関係機関と連携し、重層的に伴走支援を実施しました。また、18歳以降の支援についても丁寧に関係機関と連携し、重層的に伴走支援を実施しました。また、18歳以降の支援についても丁寧に関係機関と連携し、重層的に伴走支援を実施しました。また、18歳以降の支援についても丁寧に関係機関と連携し、重層的に伴走支援を実施しました。	B	子ども家庭支援課

基本理念 II 共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち

基本目標 2 誰もが自分らしく暮らせるまちを目指す

基本施策 3 虐待防止の推進

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
				R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)				
1	虐待防止の啓発、早期発見、早期支援	地域での見守り、声かけ体制を構築します。	-	-	-	-	-	-	子どもに関する専門相談窓口としての子どもサポートセンターを立ち上げて以降、地域及び関係機関からの通報に対し児童相談所と連携して対応しました。相談窓口が明確化されたことや、支援が必要な子どもへの積極的なアウトリーチを行ったことで、保護者はもとより子ども自身からの困り事の相談が増加し、早期からの介入や見守りにつながりました。 また、児童相談所介入ケースが増加し一時保護件数も増加しました。 ※相談通報受理件数:281件(前年度:205件)、虐待通告件数:85件(前年度:48件)	B	子ども家庭支援課	
2	関係機関との情報共有と連携強化	(1)東御市虐待等防止総合対策推進協議会を開催し、児童相談所、福祉事業者、警察などの関係機関との連携強化を図ります。 (2)相談窓口の周知を行います。	-	-	-	-	-	-	・要保護児童対策地域協議会(要対協)を開催し、児童の所属機関との連携強化を図りました。 代表者会:1回、実務者会:3回、個別のケース検討会:537回(前年度:320回) ・関係機関との情報共有を密にし、虐待を未然に防ぐために、子育て短期支援事業や見守り支援員等を活用し、児童の養育・保護を行いました。 ・虐待啓発並びに相談窓口のポスター・チラシを配布しました。 ・市報「どうみ」に虐待防止月間の啓発記事を掲載しました。 ・虐待通告の周知のため、関係機関等に積極的に周知活動を行い早期発見を呼びかけました。(民生児童委員協議会、保育園・幼稚園・小中学校、東御市民病院、市内ドラッグストア、コンビニエンスストア等)	A		

基本理念 II 共に支えあい、みんなが元気に暮らせるまち

基本目標 2 誰もが自分らしく暮らせるまちを目指す

基本施策 4 子どもの貧困対策の推進

No	項目・施策の展開 (第4章7(48～60頁))	具体的な取り組み	分野別施策 (第4章(36～47頁))	量の見込みと実績(確保策)の状況						令和6年度の実績	令和6年度 進捗状況 (評価)	担当課
				R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)				
1	子どもの貧困対策の推進	国、県の動向を注視するとともに、市の福祉、教育等を中心に関係機関が連携を行うことにより、教育の支援、保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援、経済的な支援等を総合的に取り組みます。 (1)自立相談支援事業の推進 (2)家計改善支援事業の推進 (3)子どもの学習・生活支援事業の推進 (4)就労準備支援事業の推進	-	-	-	-	-	-	(1)自立相談支援事業の推進 生活に困窮している、あるいは今後その恐れのある方への相談を受けています。令和6年度も10歳代の若者から高齢者まで幅広い年齢層の生活課題に対し、生活や就労など自立と課題の改善・解決に取り組みました。相談件数は107件と昨年度より32件増加し、相談の主訴としては仕事探し・就職に関するものが33件、収入・生活費に関するものが31件と多くを占めています。引きこもり・不登校の相談も6件ありました。また、ひとり親家庭からの相談は11件あり、子どものいる家庭の生活困窮の相談を世帯全体の課題として捉え、多機関と連携し総合的に相談に取り組みました。 (2)家計改善支援事業の推進 カードローンで作った債務や家賃・税金の滞納など家計管理の課題を、相談者とともに家計の状況を明らかにし、基本生活費のやりくりを把握するとともに、生活再建に向けた意欲を引き出し、可能な限り生活が安定するように支援を行いました。 (3)子どもの学習・生活支援事業の推進 学習支援では、生活困窮世帯の小中学生～高校生に対して、学習の支援プランに沿って基礎学力の向上や学習習慣を身につけるための学習支援や生活習慣の習得の支援を実施しました。支援員との関わりから、安心して学習ができる環境が整い、学習の週間が身につきました。 支援員の定期的な指導から、子どもたちの心や体の状況を把握することができ、子どもを見守る体制としても機能しました。また、受験を目的とした利用があり、高校に1名、大学に1名合格しました。 また、子どもの居場所支援(子どもだれでも居場所くるme)では、生活困窮世帯や社会的孤立世帯などにカヤックや里山体験など日常では体験できない遊びのプログラムに参加していただきました。年間の延べ参加者数は、こども93名、大人55名で、リフレッシュできる時間となりました。また、大学生ボランティアを含む、大勢のスタッフが関わることにより、社会性の獲得や、運営のお手伝いなどの役割を得ることでの自己肯定感を育む機会となりました。 (4)就労準備支援事業の推進 就労による社会的自立のみならず、仲間づくりや居場所づくり、地域とのつながりの構築を目指して、個別・集団によるプログラムを実施しました。20歳代・30歳代を中心に、利用者実数は21名となっており、一般就労に6名、福祉的就労に5名がつながりました。	B	福祉課	

第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の結果について

資料1-2

「子育て家庭への包括的かつ継続的な支援」 事務事業：「子どもサポートセンター」の進捗状況について

【評価内容】A：目標以上、B：目標どおり達成した、C：達成したものの課題がある、D、達成できなかった

(評価基準：A：目標達成(100%以上) B：ほぼ達成(75~99%) C：あまり達成できていない(50~74%) D：ほとんど達成できていない(49%以下))

基本目標	施策	No	事務・事業名	事務・事業の内容	業績指標				令和6年度の取組内容と結果 (進捗状況)	
					指標の名称とその内容		令和4年度	令和5年度		令和6年度
1 待ちの支援から予防的に関わる支援の充実	(1) 子どもサポートセンターにおける窓口機能の強化	1	母子保健・児童福祉一体的相談支援機関整備事業(ハード)	子育て支援センター2階を改修し、子ども家庭支援拠点(児童福祉)に子育て世代包括支援センター(母子保健)を統合した一体的相談支援機関を整備します。	① 一体的支援機関の整備(整備率100%)	目標値	100%	100%	整備済	令和5年度実施した子育て支援センター改修工事のうち、令和6年度繰越事業である太陽光発電設備工事は年度内に完了しました。
						実績値	100%	100%	—	
						評価	A	A	—	
		2	母子保健・児童福祉一体的相談支援機関整備事業(ソフト)	子ども家庭支援室と子育て支援課を統合し、母子保健サービスと子育て支援施策を一元的にマネジメントする体制を構築します。	① 令和5年4月1日付け組織改正(達成率100%)	目標値	100%	100%	整備済	「子ども家庭支援課」の設置により、子どもの発達・成長や養育者の課題を早期に発見して支援につなげる「予防的支援チーム」と、子どもやその家庭が抱える虐待・養育環境・障がいなどの困難の解決を図る「対処的支援チーム」が一体となって、相談・支援体制を強化しました。
						実績値	100%	100%	—	
						評価	A	A	—	
		② サポートプランの作成率(虐待進行管理ケースの50%)	目標値	—	—	50%				
			実績値	—	—	138件				
			評価	—	—	A				
		3	母子保健・児童福祉一体的相談支援機関運営事業	子育て支援ポータルサイトをリニューアルし、子育て家庭における養育環境の支援策が確実に妊産婦、子育て世帯、子どもへ届く広報機能を確立します。	① 令和3年度PV数(240、345件)の増(件)	目標値	240,345	240,345	85,000	子育て支援ポータルサイトにLINEによるプッシュ型の情報発信機能と相談ツールを整備したことで、分かりやすい情報発信ができると同時に、保護者が気軽に相談ができ、今まで電話では連絡が取れない家庭と連絡が取りやすくなり、相談しやすい体制が取れています。
						実績値	—	79,291	89,425	
						評価	—	D	A	
	② LINE登録者数(件)				目標値	—	200	330		
					実績値	—	311	517		
					評価	—	A	A		
	4	子育て支援アプリ“すくすくTOMI”導入事業	妊婦や子育て世帯の負担の軽減と利便性の向上を図るため、乳幼児健診や予防接種などの大切な情報をアプリを通じて素早く届ける仕組みを導入します。	① アプリ導入環境の整備率(100%)	目標値	100%	100%	整備済	妊娠届のあったすべての妊婦および乳幼児健診に来所した保護者にアプリ導入を推奨しました。また、必要な情報をタイムリーに届けられるように、すくすくぽけっとと連携しました。	
実績値					100%	100%	—			
評価					A	A	—			
② 妊娠届があった妊婦等のアプリ登録数(人)				目標値	—	200	330			
				実績値	—	309	487			
				評価	—	A	A			
(2) 子育てリスクの早期発見とプッシュ型支援の推進	1	子育て支援おしゃべり会「すくすくハッピー」	1歳児の育児に何らかの困りごとを抱える保護者を対象に、臨床心理士の奥田健次先生を講師に迎え、子どもと適切な関係性を築くための基本的な方法を座談会形式で学びます。	① 1歳児をもつ子育て家庭の参加率(R4:定員10人、R5:定員20人、R6:定員25人)	目標値	100%	100%	100%	12月から3月まで計3回実施し、全体で29名の参加がありました。また、開催方法として、継続的に学べるよう、対象家庭に継続参加を推奨し開催することができました。	
					実績値	67%	135%	116%		
					評価	C	A	A		
(3) 健全な親子関係を形成するための支援の推進	1	保護者支援臨時特例事業(令和5年度~)	保護者が子どもとの適切な関わり方を学び、子どもと向き合える環境を整えるため、親子の関係性や発達に応じた子どもとの関わり方を学ぶためのペアレント・トレーニングを実施します。	① 親子関係の形成が特に必要な就学前対象世帯の参加数	目標値	—	8世帯	8世帯	発達障がいの診断又は疑いのある就学前の子どもをもつ家庭5世帯と就学後の子どもを持つ家庭5世帯を対象に、1クール8回のペアレント・トレーニングに取り組みました。また、託児や土曜日開催により参加しやすいよう工夫し体制を整えました。集団に参加できない保護者には個別で実施しました。	
					実績値	—	6世帯	5世帯		
					評価	—	B	C		
				② 親子関係の形成が特に必要な就学後対象世帯の参加数	目標値	—	8世帯	8世帯		
					実績値	—	6世帯	5世帯		
					評価	—	B	C		

基本目標	施策	No	事務・事業名	事務・事業の内容	業績指標				令和6年度の取組内容と結果 (進捗状況)	
					指標の名称とその内容		令和4年度	令和5年度		令和6年度
2 不適応・不登校要因の的確な把握と早期支援	(1) 家庭環境を整えるためのアウトリーチ型支援の推進	1	子育て世帯訪問支援事業	教育委員会と連携し、家庭環境を要因に不登校や登校渋りが生じている子どもを把握し、それら家庭における養育環境を整えるために、訪問支援員を派遣して家事・育児支援を実施します。	① 対象家庭への訪問支援達成率 (R4: 10世帯、R5: 11世帯、R6: 18世帯)	目標値	100%	100%	100%	ニーズに応じたサービス供給量の確保のため、3事業所に委託し実施しました。また、特定妊婦や0歳からの育児不安や養育力の低い家庭への育児支援・家事支援にも取り組み、育児不安の解消と支援に取り組みました。
						実績値	80%	390%	283%	
評価	B	A	A							
② 家庭環境を背景に不登校にあった児童生徒の改善率 (R4: 4人、R5: 5人、R6: 8人)	目標値	100%	100%	100%						
	実績値	75%	140%	75%						
評価	B	A	B							
3 地域全体で支える子どもと子育て改定の居場所づくり	(1) 人とつながる安心・安全な居場所の提供、地域の居場所づくり活動の推進	1	子どもの居場所づくり事業 (委託)	貧困をはじめ、様々な課題を抱える子どもと家庭が孤独・孤立に陥ることのないよう、子ども食堂や学習支援などを行う子どもの居場所づくりを委託して実施します。	① 居場所実施率	目標値	33回	48回	第三の居場所に移行済	子ども第三の居場所に移行。
						実績値	32回	48回	—	
						評価	A	A	—	
					② 対象児童の延べ参加者数	目標値	480人	720人	第三の居場所に移行済	
						実績値	343人	619人	—	
						評価	C	B	—	
		③ 利用満足度 (アンケート調査「満足」「やや満足」の割合)	目標値	—	90%	第三の居場所に移行済				
			実績値	—	75%	—				
			評価	—	B	—				
		2	子どもの居場所づくり事業 (子ども第三の居場所開設事業)	貧困をはじめ、様々な課題を抱える子どもと家庭が孤独・孤立に陥ることのないよう、子ども食堂や学習支援などを行う常設型の子どもの居場所づくりに取り組みます。	① 子ども第三の居場所の整備 (整備率: 100%)	目標値	100%	100%	整備済	市内小中学校の児童、生徒、延べ2,119人が居場所を利用し、学校や家族以外の人とのふれあい、各種体験活動、食事の提供等を通じ心身の育成につなげることができました。
						実績値	100%	100%	—	
					② 登録児童数	目標値	—	—	35人	
実績値	—					—	45人			
評価	—	—	A							
3	子どもの居場所づくり補助事業	様々な困難に直面している子どもと家庭の孤立を防ぎ、子どもの健全な育ちを支援するため、子どもの居場所づくりに取り組む市民活動団体を支援します。	① 市民活動団体による居場所の開設率	目標値	5団体	5団体	5団体	子どもにとって身近な地域に多くの居場所ができるよう、市民活動団体の支援を目的とした補助金制度を創設しましたが、十分に浸透を図ることができませんでした。		
				実績値	1団体	1団体	1団体			
				評価	C	C	C			
4	支援対象児童等見守り支援強化事業	子育て支援サポーター養成講座修了者を中心とする地域人材を「見守り支援員」へ登録し、子育て家庭のニーズに応じ、子どもの見守りや保護者の話し相手といった活動に取り組み、子どもと家庭を支えます。	① 「見守り支援員」登録者数 (人)	目標値	—	20人	40人	子育てを地域全体で支える仕組みとして、多くの地域人材に参加協力を得られるよう研修会を開催し、人材バンクの仕組みとしての「見守り支援員」制度に登録を促しました。		
				実績値	—	31人	43人			
				評価	—	A	A			

第2期東御市子ども・子育て支援事業計画の結果について

資料1-3

①教育・保育給付事業の量の見込み及び確保方策の推進状況

担当課：保育課

幼児教育・保育のニーズに係る施設型給付及び地域型保育給付については、特に保育が必要なニーズについては待機児童を発生させることなく、保育サービスを提供しました。（単位：人）

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
1号認定（教育） 3歳以上児	量の見込み	67	-	66	-	66	-	65	-	64	-
	実績値（確保方策）	67	96	66	70	66	83	65	80	64	74
	特定教育・保育施設	6	8	36	43	36	65	36	61	36	55
	認可を受けない幼稚園	61	88	30	27	30	18	29	19	28	19
	過不足（待機児童数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2号認定（保育） 3歳以上児	量の見込み	624	-	613	-	603	-	591	-	581	-
	教育ニーズ	29	-	29	-	28	-	28	-	28	-
	保育ニーズ	595	-	584	-	575	-	563	-	553	-
	実績値（確保方策）	624	597	613	595	603	583	591	604	581	580
	特定教育・保育施設	624	587	613	582	603	571	591	591	581	566
認可外保育施設	0	10	0	13	0	12	0	13	0	14	
過不足（待機児童数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3号認定（保育） 0歳児	量の見込み	57	-	59	-	61	-	63	-	65	-
	実績値（確保方策）	57	54	59	45	61	61	63	54	65	45
	特定教育・保育施設	48	44	50	38	52	42	54	41	56	38
	特定地域型保育事業所	9	10	9	7	9	14	9	12	9	7
	認可外保育施設	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0
過不足（待機児童数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3号認定（保育） 1・2歳児	量の見込み	232	-	237	-	240	-	244	-	246	-
	実績値（確保方策）	232	224	237	227	240	229	244	247	246	232
	特定教育・保育施設	211	200	216	206	219	201	223	215	225	206
	特定地域型保育事業所	21	24	21	21	21	21	21	26	21	24
	認可外保育施設	0	0	0	0	0	7	0	6	0	2
過不足（待機児童数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	980	971	975	937	970	956	963	985	956	931	

②預かり保育事業の量の見込み及び確保方策の推進状況

担当課：保育課

未就園児の保護者の急な要件により保育が一時的に困難となった乳児又は幼児について、保育所その他の場所において、一時的な預かりを行う事業です。市内6保育園では未就園児を対象に、くるみ幼稚園では1号認定を受けた在園児を対象に継続して実施しています。令和6年度は、くるみ幼稚園の未就園児を対象とした一時預かりの実績はありませんでした。

◆保育園及び認定こども園での一時預かり（対象：未就園児）

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
量の見込（延人）	800	—	800	—	800	—	800	—	800	—
実績（確保策）（人）	800	1,701	800	558	800	434	800	304	800	455
実施か所数	6	6	6	7	6	6	6	6	6	6

◆認定こども園での預かり保育（対象：1号認定を受けた在園児）

※令和2年度は未移行幼稚園

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
量の見込（延人）	1,000	—	1,000	—	1,000	—	1,000	—	1,000	—
実績（確保策）（人）	1,000	1,120	1,000	967	1,000	180	1,000	458	1,000	965
実施か所数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

◆幼稚園での預かりII型（未入園の2歳児を対象とした預かり保育）

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	計画値	実績値								
量の見込（延人）	—	—	20	—	20	—	20	—	20	—
実績（確保策）（人）	—	—	20	0	20	0	20	0	20	0
実施か所数	—	—	1	0	1	0	1	0	1	0